

第 10 回舟着地域協議会 会議録		公 開 ・ 非公開 (一部非公開)	
日時	令和 7 年 2 月 16 日 (日) 午前 9 時 00 分～正午	場所	塩沢構造改善センター
出席者	(委員) 荒川博明、荒川浩幸、鈴木仁、加藤春夫、廣瀬秀雄、山口和夫、 樋口義治、豊田幸応、山下修宏、戸田善美、菅谷知恵子、野澤敏秀、 飛安章智、森勝哉、櫻井利昭、古田多紀子、遠山雅美		
	(事務局) 吉林部長、服部所長、杉本参事、森本主査、岡本主査		
欠席者	(委員) 原祐嘉	傍聴者	7 名
議題・議事・ 発言等	1 開会 2 説明 3 公開審査（プレゼンテーション） 4 最終審議【非公開】 5 議事 地域活動交付金の追加募集について 6 報告 地域計画推進体制検討会からの提案事項に対する市の方針について 7 その他 次回の舟着地域協議会について 8 閉会		

1 開会

(会長)

半数以上の委員が出席しているため、新城市地域自治区条例第 8 条第 3 項の規定を満たしており、会議が成立していることを報告した。

今回の会議録署名人は荒川浩幸委員と鈴木仁委員となることを報告した。

2 説明

事務局から令和 7 年度舟着地域自治区地域活動交付金審査について手順、採点方法、留意点の説明を行った。

3 公開審査（プレゼンテーション）

地域活動交付金申請団体が申請順により事業説明（プレゼンテーション）を行い、委員による審査を行った。

	申請団体名	事業名
1	環境整備の会	地区内の道路沿いの草刈り及び史跡環境整備、景観保全整備事業
2	鳥原ビオトープの会	ビオトープ並びに花畑整備事業
3	舟着こども園保護者会	子どもたちの健全育成事業

4 最終審議【非公開】

地域活動交付金採点票集計結果を委員に対して報告し、申請団体に対する意見について委員からの意見をもとに整理した。

審査結果と整理した意見を申請団体へ通知することについて採決を行い、賛成多数により認められた。

今年度の地域活動交付金審査について募集要項等の協議から審査までの感想や改善点等を用紙に記入し、後日提出いただくよう委員に依頼した。

5 議事

地域活動交付金の追加募集について

会長から令和7年度舟着地域自治区地域活動交付金募集要項第5条により、交付金予算の範囲で、追加募集することができると定められていることを説明し、追加募集の実施について協議を行った。

追加募集を行うとして採決を行い、賛成多数により決定した。

【主な意見】

(委員) (事務局)	追加募集の流れを教えてください。 本日の協議により、追加募集することになった場合、この後に審査基準や審査方法などを改めて協議で決めていただきます。周知についてもチラシを作成し、明日には各区長に依頼して地域へ回覧したいと考えています。募集期間の案としては、年度内の3月上旬から下旬としており、5月中の第2回舟着地域協議会の日に勉強会、6月中の第3回舟着地域協議会での審査会というスケジュールを予定しています。
(委員) (事務局)	今回ほど多くの予算が残ったということはあるですか。 予算残額としては、今回が一番多いかと思います。
(委員) (事務局)	すでに採択した団体は交付金を受けることはできませんか。 採択された事業とは、違う事業であれば、申請は可能です。
(委員) (事務局)	審査会が6月中となっているが、7月にすることは可能か。 可能です。スケジュールは、年度をまたぐというイメージで見いただければと思います。4月1日から活動を始めたい団体があつた場合に支障がないように、申請期間は3月中にしています。
(委員) (事務局)	4月からにすることはできないのか。 可能ですが、4月1日からの活動はできなくなります。

(委員)	例えば、3月から4月末日までということは可能か。
(事務局)	可能ですが、4月1日から活動を始めた団体が交付申請日以前の活動を交付金の対象とすることはできません。
(委員)	なぜできないのか。
(事務局)	申請日以前の交付金が受けられないのは前提として考えていただきたい。
(委員)	それは別に問題はないと思う。
(委員)	地域の活動として3月と4月で切り替わるので、4月にずらせる方が良いと思う。
(事務局)	来年度になると、地域自治区予算事業の検討が始まってくるので、支障のない範囲で考えていただきたい。
(委員)	募集までの期間が短いと感じる。
(事務局)	まずは、追加募集をするかしないかを協議したうえで、募集期間についての協議をお願いしたい。
(委員)	予算の残金があるが、追加募集をしないことになった場合は、次年度に持ち越しといったことになるのか。
(事務局)	持ち越しはありませんので、使われない予算となります。
(委員)	申請から審査までは手間がかかるのではないか。
(会長)	ある程度の募集期間があり、相談も申請もなかったのであれば、追加募集をしても申請されることはないのではないかと思います。そう言った声も聞いているので、追加募集した方がよいのではないかと思います。
(委員)	申請してみたいというのであれば、傍聴してもらう機会があった方がよいと思う。
(会長)	追加募集をしたことによって、申請を思い立つ人もいられるかもしれないので、追加募集してみるということでも良いと思う。
(委員)	追加募集をするのであれば、当初の募集と追加の募集で募集期間の長さを変えるべきではないと思う。
(委員)	追加募集では、交付申請日以前の活動は対象外ということで、4月1日から交付申請日までに活動した分の費用を団体が負担するということか。
(事務局)	そのようになります。
(委員)	納品日が申請日より後にしなければいけないということは当然だと思う。
(委員)	書類の作成が難しいため、申請を諦めたということを聞いたことある。事務局に対して、他に申請をしたいという相談はあったのか。
(事務局)	窓口に来られての相談はありませんが、行政区の方との話で申請したいというようなことは、伺ったことがあります。区長の皆さんからそういった話があれば教えていただきたい。
(委員)	追加募集をすれば、申請をする団体が出てくる可能性はあるということか。
(事務局)	可能性はあります。
(委員)	書類での審査ができることになっているができるのか。

(事務局)	やむを得ない事情の場合の書面審査ということで、コロナ禍に加えられた規定となります。
(委員)	採択された団体に対して、予算の残額を増額させることはできないのか。
(事務局)	それはできません。もし増額するのであれば、その内容で審査を受けなおす必要があります。
(会長)	追加募集を行うということで、採決をしたいと思います。

令和7年度舟着地域自治区地域活動交付金募集要項について

事務局から募集要項の改定する必要はないが、「追加募集の実施及び募集期間、その他必要な事項は、舟着地域協議会で決定する。」とされていることを説明し、協議を行った。募集期間は、令和7年4月1日から令和7年4月22日ということで採決を行い、賛成多数により決定した。

【主な意見】

(委員)	新年度の役員が対応することができるため、募集期間を4月までにした方が良いのではないか。
(事務局)	募集期間を3月から4月までということではなく、4月中にするということではよろしいでしょうか。また、4月1日からの募集期間ということにすれば、4月1日からの活動が可能です。
(委員)	前年度審査したという考えもあるので、3月中の方が良いのではないか。
(委員)	当初の募集の時に申請をしてこなかった団体なので、追加募集では、4月にしても良いと思う。
(会長)	募集期間は、令和7年4月1日から令和7年4月22日ということで、採決したいと思います。

舟着地域自治区地域活動交付金審査基準について

会長から審査基準は、第8回舟着地域協議会で決定したものであり、追加募集ということで、同様としたい旨を説明し、協議を行い、賛成多数により決定した。

【主な意見】

(会長)	(意見なし) 意見がないようですので、改定はしないということで採決をしたいと思います。
------	--

令和7年度地域活動交付金事業追加募集案内について

事務局から募集案内について説明し、内容の確認を行った。

会長から募集案内は2月の各行政区の回覧でお知らせし、市ホームページ、舟着自治振興事務所の窓口で周知をすることを報告した。

【主な意見】

(委員)	1つの団体でも事業が違えば申請できるということで、その文言も加えたほうがよいのではないか。
(事務局)	募集案内は、2月17日に回覧として各区長の皆さんに依頼させていただくと説明しましたが、よろしいでしょうか。
(委員)	それではかまいません。

6 報告

地域計画推進体制検討会からの提案事項に対する市の方針について

事務局から令和6年度新城市地域協議会連絡会議で会長、副会長に対して説明のあった地域計画推進体制検討会からの提案事項に対する市の方針について報告を行った。

【主な意見】

(委員)	推進組織ができるかというのが、課題だと思う。舟着地区コミュニティ運営委員会が助成している団体は限られているので、それ以外の団体が生まれてくるかということがあると思う。
(事務局)	まずは、地域と話しを進めていくということでよいか。
(委員)	現状として、舟着地区コミュニティ運営委員会は、舟着区長会と同じメンバーで構成されていると思うので、区長会の皆さんに組織体制をどうしていくのかをまずはご相談させていただきたいと思います。
(事務局)	舟着地域は、4つの行政区で構成されており、行政区を基本として活動をしているのが現状だと思うが、舟着地区コミュニティ計画として、どういう単位で進めていきたいのかが分からない。
(委員)	理想としては、舟着地域全体としての活動を進めていくことにはなりますが、それが難しいこともあるので、各行政区単位でも活動ができれば良いのではないかと考えます。
(委員)	各行政区で活動するのであれば考えられないことはないが、舟着地域全体というのは考えにくい。
(事務局)	地域全体の組織としては体育振興会があったが、なくなってしまった。
(委員)	地域全体の活動をやりたいのか、やりたくないのか。
(委員)	やりたくないというのが本音ではないかと思う。
	味噌づくり講座といった行事は地域全体で活動できているものもあるので、そういったものから始めていけば良いと思う。

7 その他

次回の舟着地域協議会について

第11回舟着地域協議会は、3月4日（月）午後7時30分から鳥原児童館2階遊戯室で開催することを報告した。

8 閉会

(配布資料)

次第、第10回舟着地域協議会タイムスケジュール。申請団体に対する事前質問事項一覧、審査できない委員まとめ、地域計画推進体制検討会からの提案事項に対する市の方針、舟着地域における地域計画推進体制について(提案)、地域活動交付金の追加募集について、令和7年度舟着地域自治区地域活動交付金募集要項、舟着地域自治区地域活動交付金審査基準、令和7年度地域活動交付金事業追加募集案内